

平成 29 年 5 月 18 日
株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント

日本の夕食が変わっていく

－ シニアの白ご飯・漬け物離れ －
～『R&D デイナーサーベイ』より～

株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント(所在地:東京都新宿区、代表取締役:五十嵐 幹)は、毎日実施している独自調査「ディナーサーベイ 夕食メニュー調査」(毎日 1,000 サンプル、年間 36 万サンプル)を用いて、18～69 歳の女性における過去 5 年間の夕食メニューについて比較分析を行いました。

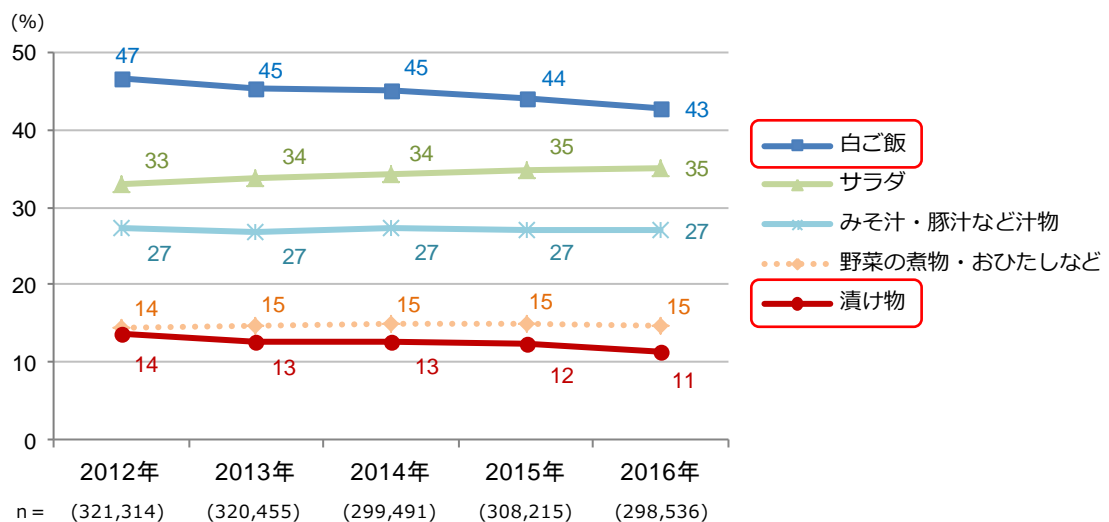
その結果、シニア層で夕食メニューの変化がみられることがわかりました。

“和食の定番 白ご飯・漬け物が減少傾向”

- 日本人の夕食は、2012 年から 5 年間で、上位 5 メニューの順位に変動はみられないが、白ご飯、漬け物が減少傾向にある。

(図1) 主要メニューの夕食出現率

※2012 年～2016 年までの主要メニューから上位 5 位の出現率を抜粋



※(株)R&D「ディナーサーベイ」より

“シニアの白ご飯・漬け物離れ”

- 白ご飯、漬け物の年代別の夕食出現率は50代・60代で高いが、2012年からの下げ幅は50代・60代で大きい。
- 健康に良いと言われている玄米ご飯、雑穀入りご飯・サラダは出現率が上昇し、特に高年齢層での上げ幅が大きい。
- 逆にパスタは、全体的に減少傾向にあるが、若年層で下げ幅が大きい。

(図2) 各メニューの夕食出現率
白ご飯

	2012年	2016年	差
全体	46.6	42.7	-3.9
18～29歳	40.6	37.8	-2.8
30代	45.8	41.4	-4.4
40代	47.0	43.2	-3.8
50代	47.6	42.6	-5.0
60代	51.9	45.4	-6.5

漬け物

	2012年	2016年	差
全体	13.7	11.3	-2.4
18～29歳	5.0	4.1	-0.9
30代	7.8	4.9	-2.9
40代	12.7	8.1	-4.6
50代	21.8	14.5	-7.3
60代	31.1	25.3	-5.8

玄米ご飯、雑穀入りご飯

	2012	2016	差
全体	4.3	5.2	0.9
18～29歳	3.2	2.6	-0.6
30代	3.3	3.5	0.2
40代	4.3	4.8	0.5
50代	5.7	6.2	0.5
60代	5.9	7.9	2.0

サラダ

	2012	2016	差
全体	33.1	35.1	2.0
18～29歳	26.7	26.4	-0.3
30代	31.9	30.7	-1.2
40代	33.7	34.9	1.2
50代	35.9	38.5	2.6
60代	35.2	39.0	3.8

パスタ

	2012年	2016年	差
全体	3.6	3.2	-0.4
18～29歳	4.7	3.4	-1.3
30代	4.0	3.6	-0.4
40代	3.8	3.6	-0.2
50代	2.8	2.8	0.0
60代	1.7	1.8	0.1

サンプル数 (人) ※全国18～69歳女性 内食者ベース

	2012	2016
全体	321,314	298,536
18～29歳	26,880	15,732
30代	104,903	61,193
40代	103,263	100,538
50代	60,123	80,281
60代	26,145	40,792

※ 差は、2016年-2012年

※ (株)R&D「ディナーサーベイ」より

“発酵食品は漬け物から納豆・ヨーグルトへ”

- 納豆は2012年から0.6ポイント伸び、年代に関わらず上昇傾向である。
- ヨーグルトは1.6ポイント伸び、40代・50代の伸びが大きい。
- 納豆とヨーグルトは夕食に登場する割合は1割未満と低めだが、2012年を基準にすると納豆は1.13倍、ヨーグルトは1.29倍と夕食卓でのシェアを大きく伸ばしている。
(前ページのサラダは1.06倍程度)

(図3) 各メニューの夕食出現率

納豆

	2012	2016	差
全体	4.6	5.2	0.6
18～29歳	4.6	5.4	0.8
30代	4.5	5.1	0.6
40代	4.6	5.1	0.5
50代	4.8	5.1	0.3
60代	5.2	5.7	0.5

ヨーグルト

	2012	2016	差
全体	5.4	7.0	1.6
18～29歳	5.3	4.7	-0.6
30代	4.6	5.4	0.8
40代	5.5	7.2	1.7
50代	6.0	7.9	1.9
60代	7.0	7.9	0.9

※「ヨーグルト」は、夕食時や食後に食べたデザートも含む

※ 差は、2016年-2012年

※ (株)R&D「ディナーサーベイ」より

R&D 生活者インサイト

◇シニアの白ご飯と漬け物離れ

コメの消費量が減ってきているということは周知の事実ですが、夕食というシーンで切り取っても白ご飯が食卓に上がる回数は確実に減ってきています。年代別にみると、若者だけでなくシニアでも白ご飯離れが進行しています。白ご飯だけでなくパスタなども減ってきていることから、理由としては最近の炭水化物抜きダイエットの影響が大きいと考えられます。

他に減ってきたメニューでは、白ご飯との相性がよい漬け物の減少が目立ちます。若者が漬け物をあまり食べないことは理解できますが、シニアの減少幅が大きいことに驚きます。漬け物が減ってきている理由としては、味の好みだけではなく、塩分の多さ、漬けることの手間など複合的な問題がありそうです。漬け物の利点として「野菜を多く取れる」「発酵食品のため体に良い」といったことをよく耳にしますが、野菜を食べるならサラダ、発酵食品を食べるなら納豆やヨーグルトに代替されていることがデータから読み取れます。

減少率からみると近い将来、夕食から漬け物がなくなってしまうような減少ペースに思えますが、漬け物好きな層が一定数は残ると考えられます。しかし、夕食に限って言えば現40代の食卓での出現率は10%未満、30代以下は5%未満となっていますので、このままのペースでいくと10年後20年後に漬け物が食卓を占めるシェアは非常に小さくなると予想され、高齢化や個食化に対応した容器・容量や、新規獲得のための新たな価値提案が求められます。

調査結果の詳細は、無料ダウンロードレポート『日本の夕食が変わっていく～シニアの白ご飯・漬け物離れ～』をご覧ください。40メニューの2012年から5年分のデータ推移、メニュー選定理由、メニュー数の推移などを掲載しています。(弊社ホームページよりダウンロードいただけます)

詳細につきましては弊社ホームページ <https://www.rad.co.jp/> をご覧ください。

■『ディナーサーベイ』夕食メニュー調査 調査概要■

調査地域： 全国
調査対象： 18～69 歳女性
サンプル数： 有効回収 1 日 1,000 サンプル（内食者月平均 26,422 サンプル）
調査手法： WEB アンケート
調査実施時期： 2009 年 4 月～ 継続中

■会社概要■

会社名： 株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント
所在地： 〒163-1424 東京都新宿区西新宿 3-2 0-2
代表者： 代表取締役社長 五十嵐 幹
資本金： 30,000 千円
設立： 1968 年 1 月 17 日
URL： <https://www.rad.co.jp>
事業内容： マーケティング・リサーチの企画設計、実施及びコンサルテーション
経営・マーケティング活動の評価及びコンサルテーション

《引用・転載時のクレジット表記のお願い》

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

〈例〉「(株)リサーチ・アンド・ディベロプメントが実施した調査によると・・・」

■お問い合わせ先■

- 本分析担当：
株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント カスタマーサービス本部（星野）
- 本資料に関するお問い合わせ：
株式会社リサーチ・アンド・ディベロプメント セールスプランニング部（小林）
TEL：03-6859-2281 e-mail：radnews@rad.co.jp